

## 1 組織法人の水田作経営（全国）

(1) 平成29年の水田作経営の1組織当たり農業粗収益は5,624万円で、前年に比べ2.1%増加した。一方、農業経営費は3,708万円で、前年に比べ0.1%増加した。

この結果、農業所得は1,915万円となり、前年に比べ6.2%増加した。

(2) (1)のうち集落営農の1組織当たり農業粗収益は4,802万円で、前年に比べ0.8%増加した。一方、農業経営費は2,889万円で、前年に比べ1.4%増加した。

この結果、農業所得は1,913万円となり、前年並となった。

表1 水田作経営の農業経営収支（全国）（1組織当たり）

区分	単位	水田作経営			集落営農		
		平成28年	29	対前年増減率	平成28年	29	対前年増減率
				%			%
農業粗収益	千円	55,063	56,235	2.1	47,623	48,019	0.8
うち稲作収入	〃	24,935	25,845	3.6	21,931	22,517	2.7
農作業受託収入	〃	5,464	5,394	△ 1.3	3,467	3,275	△ 5.5
共済・補助金等受取金	〃	17,312	17,758	2.6	16,370	16,877	3.1
農業経営費	〃	37,031	37,082	0.1	28,493	28,889	1.4
うち肥料費	〃	3,614	3,468	△ 4.0	3,129	3,053	△ 2.4
農業薬剤費	〃	2,932	3,035	3.5	2,576	2,758	7.1
光熱動力費	〃	1,401	1,515	8.1	998	1,177	17.9
労務費（雇用）	〃	5,040	4,689	△ 7.0	2,293	2,278	△ 0.7
農業所得	〃	18,032	19,153	6.2	19,130	19,130	0.0
経営概況							
水田作付延べ面積	a	3,462.8	3,587.8	3.6	3,294.1	3,422.8	3.9
農業従事者数	人	15.49	13.91	△ 10.2	21.70	18.89	△ 12.9
農業投下労働時間	時間	8,998	8,746	△ 2.8	7,809	7,756	△ 0.7

注：1 平成29年の集計組織数は、水田作経営215組織、うち集落営農139組織である。

2 農業所得には、構成員に支払われた労務費、人件費等を含む（以下同じ。）。

3 水田作付延べ面積は、稲、麦類、雑穀、豆類、いも類及び工芸農作物を水田に作付けた延べ面積である（以下同じ。）。

4 農業従事者数とは、農業に従事した構成員及び常用雇用者の人数である（以下同じ。）。

## 2 組織法人の水田作経営以外の耕種経営（全国）

(1) 畑作経営の1組織当たり農業粗収益は8,327万円で、前年に比べ13.7%増加し、農業経営費は6,241万円で、同7.3%増加した。

この結果、農業所得は2,085万円となり、前年に比べ38.3%増加した。

(2) 露地野菜作経営の1組織当たり農業粗収益は1億3,168万円で、前年に比べ6.4%減少し、農業経営費は1億1,303万円で、同6.2%減少した。

この結果、農業所得は1,864万円となり、前年に比べ7.6%減少した。

- (3) 施設野菜作経営の1組織当たり農業粗収益は1億1,201万円で、前年に比べ1.5%減少し、農業経営費は1億104万円で、同1.5%増加した。  
この結果、農業所得は1,097万円となり、前年に比べ22.4%減少した。
- (4) 果樹作経営の1組織当たり農業粗収益は3,767万円で、前年に比べ2.4%減少し、農業経営費は3,051万円で、同7.8%増加した。  
この結果、農業所得は716万円となり、前年に比べ30.6%減少した。
- (5) 露地花き作経営の1組織当たり農業粗収益は2,164万円、農業経営費は1,801万円となり、この結果、農業所得は363万円となった。
- (6) 施設花き作経営の1組織当たり農業粗収益は6,858万円で、前年に比べ0.6%減少し、農業経営費は6,406万円で、同4.9%増加した。  
この結果、農業所得は452万円となり、前年に比べ42.7%減少した。

表2 水田作経営以外の耕種経営の農業経営収支（全国）（1組織当たり）

区 分	単位	畑 作		露地野菜作		施設野菜作		果 樹 作		露地花き作		施設花き作	
		平成29年	対前年 増減率	平成29年	対前年 増減率	平成29年	対前年 増減率	平成29年	対前年 増減率	平成29年	対前年 増減率	平成29年	対前年 増減率
農 業 粗 収 益	千円	83,265	13.7	131,676	△ 6.4	112,006	△ 1.5	37,670	△ 2.4	21,644	-	68,576	△ 0.6
農 業 経 営 費	〃	62,413	7.3	113,032	△ 6.2	101,038	1.5	30,507	7.8	18,012	-	64,059	4.9
農 業 所 得	〃	20,852	38.3	18,644	△ 7.6	10,968	△ 22.4	7,163	△ 30.6	3,632	-	4,517	△ 42.7
経 営 概 況													
作付延べ面積	a, m <sup>2</sup>	4,067.3	0.7	2,571.9	△ 1.1	40,473.3	△ 4.2	673.3	△ 2.5	181.4	-	10,393.5	1.2
農業投下労働時間	時間	11,828	△ 2.1	29,625	△ 29.0	34,755	△ 7.0	16,376	2.8	7,063	-	21,109	7.1

- 注：1 平成29年の集計組織数は、畑作39組織、露地野菜作28組織、施設野菜作29組織、果樹作30組織、露地花き作5組織、施設花き作19組織である。
- 2 作付延べ面積は、畑作は稲、麦類、雑穀、豆類、いも類及び工芸農作物を畑に作付けた延べ面積、露地野菜作は露地野菜作付面積（延べ面積）、施設野菜作は施設野菜作付面積（延べ面積）、果樹作は果樹植栽面積、露地花き作は露地花き作付面積（延べ面積）、施設花き作は施設花き作付面積（延べ面積）である。
- 3 単位は、施設野菜作及び施設花き作はm<sup>2</sup>、それ以外はaである。

### 3 組織法人の畜産経営（全国）

- (1) 酪農経営の1組織当たり農業粗収益は2億5,298万円で、前年に比べ2.7%増加し、農業経営費は2億1,724万円で、同3.1%増加した。  
この結果、農業所得は3,574万円となり、前年に比べ0.4%増加した。
- (2) 繁殖牛経営の1組織当たり農業粗収益は1億3,586万円、農業経営費は1億3,624万円となり、この結果、農業所得は△38万円となった。
- (3) 肥育牛経営の1組織当たり農業粗収益は5億8,849万円で、前年に比べ4.8%減少し、農業経営費は5億8,087万円で、同3.5%増加した。  
この結果、農業所得は762万円となり、前年に比べ86.5%減少した。

(4) 養豚経営の1組織当たり農業粗収益は7億7,264万円で、前年に比べ8.9%増加し、農業経営費は7億1,700万円で、同7.7%増加した。  
この結果、農業所得は5,564万円となり、前年に比べ28.4%増加した。

(5) 採卵養鶏経営の1組織当たり農業粗収益は6億6,579万円で、前年に比べ3.2%増加し、農業経営費は6億3,135万円で、同3.3%増加した。  
この結果、農業所得は3,444万円となり、前年に比べ1.9%増加した。

(6) ブロイラー養鶏経営の1組織当たり農業粗収益は2億5,981万円で、前年に比べ6.7%増加し、農業経営費は2億3,591万円で、同6.1%増加した。  
この結果、農業所得は2,391万円となり、前年に比べ13.5%増加した。

表3 畜産経営の農業経営収支(全国)(1組織当たり)

区分	単位	酪農		繁殖牛		肥育牛		養豚		採卵養鶏		ブロイラー養鶏	
		平成29年	対前年増減率	平成29年	対前年増減率	平成29年	対前年増減率	平成29年	対前年増減率	平成29年	対前年増減率	平成29年	対前年増減率
農業粗収益	千円	252,979	2.7	135,861	1.2	588,486	△4.8	772,644	8.9	665,789	3.2	259,814	6.7
農業経営費	〃	217,244	3.1	136,241	16.0	580,869	3.5	717,001	7.7	631,351	3.3	235,905	6.1
農業所得	〃	35,735	0.4	△380	△102.3	7,617	△86.5	55,643	28.4	34,438	1.9	23,909	13.5
経営概況													
飼養頭羽数	頭、羽	201.0	3.1	205.0	12.6	1,111.6	0.0	9,737.6	6.2	163,369	4.5	592,211	8.8
農業投下労働時間	時間	21,172	9.1	13,679	3.6	20,720	29.6	40,063	15.4	51,323	△20.0	10,641	9.3

注：1 平成29年の集計組織数は、酪農19組織、繁殖牛5組織、肥育牛14組織、養豚19組織、採卵養鶏15組織、ブロイラー養鶏8組織である。

2 飼養頭羽数とは、酪農経営は月平均搾乳牛飼養頭数、繁殖牛経営は繁殖雌牛の月平均飼養頭数、肥育牛経営は肥育牛の月平均飼養頭数、養豚経営は月平均肥育豚飼養頭数、採卵養鶏経営は月平均採卵鶏飼養羽数、ブロイラー養鶏経営はブロイラー販売羽数である。